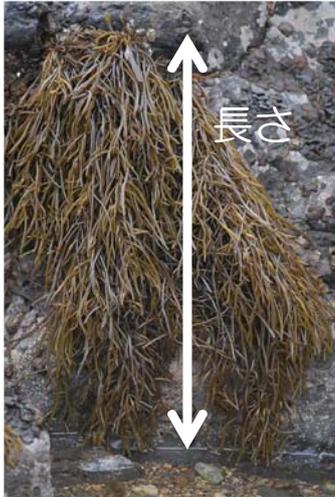
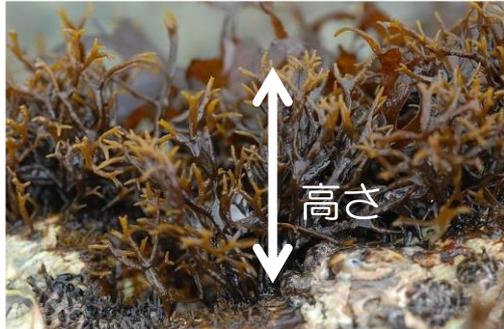


4. 磯生物の図鑑

指標生物の特ちょうと生息場所







磯生物の大きさ

マニュアルにはおおよその生物サイズをのせています。その大きさは以下の部分をはかった数字です。

カサガイ類 (p.29~30) とカキ類・イガイ類 (p. 31) の見分け方も参考にしてください

イシゲ (15点)

高さ：～10 cm

生息場：潮間帯 中部

- 樹枝状に枝分かれしている
- 先たんは細く、藻体はかたい
- 水中ではかっ色だが、干出時にかんそうすると真っ黒になる
- 一年を通して観察できる



ウミトラノオ (13点)

長さ：～100 cm

生息場：潮間帯 中部～下部

- 1つの付着根から虎の尾（とらのお）状の枝が何本も出ている
- 成長するとタマハハキモク (p.38) に似る
- 一年を通して観察できる



ヒジキ (12点)

高さ：～ 100 cm

生息場：潮間帯 下部

- 肉厚で、こん棒形の葉をつける
- 春～夏には、へん平形や気ほう状の葉が多数混在する
- 一年を通して観察できる



アナアオサ (6点)

長さ：～ 30 cm

生息場：潮間帯 下部

- 藻体は円形か、だ円形
- 成長すると、藻体にたくさんの穴があく
- 一年を通して観察できる



シロスジフジツボ

(2点)



直径：～15 mm

生息場：潮間帯 上部～中部

- 殻表の白色の縦走肋（じゅうそうろく）が非常に強い
- 殻口は五角形
- 内湾（ないわん）の岸へきなどでよく観察される



タテジマフジツボ

(1点)

直径：～15 mm

生息場：潮間帯 上部～中部

- 殻表はなめらかで、むらさきと白の縦しまがある
- 原産地は熱帯・あ熱帯地方の外来生物



クロフジツボ (17点)



直径：～40 mm
生息場：潮間帯 中部

- 明灰色ないし黒ずんだ灰色
- 大型のフジツボ



カメノテ (16点)



全長：～50 mm
生息場：潮間帯 上部～中部

- 岩の割れ目などに群生する
- 体全体が「かめの手」を思わせる
- フジツボと同じけんだく物食者



ケガキ (20点)

殻高：～80 mm
生息場：潮間帯 上部～中部

- 殻全体で付着する
- 殻のえん辺部は暗いむらさきか黒色
- パイプ状のとげがある



マガキ (3点)

殻高：～60 mm
生息場：潮間帯～水深数mの岩礁

- 殻のえん辺部には黄緑～紫色の帯がある



- 殻がまもうしていない若い個体は、殻の表面がひだ状になっている

ムラサキインコ (18点)

殻長：～30 mm

生息場：潮間帯 中部～下部



北九州市

- 殻はピンクがかったむらさき色で、えん辺部は黒色
- 岩の間などにつきささるように固着している
- カメノテと同じ場所で見つかることが多い。



阿南市

カメノテとの混群



大洲市

ムラサキイガイ (4点)

殻長：～60 mm

生息場：潮間帯～水深 20 m程度の岩礁



高松市

- ヨーロッパ原産の外来生物
- 防波ていや岸へきに密集して観察されることが多い。



広島市